

国民体育大会水泳競技東京都代表選手選考基準

【競泳】

1. 最大参加人数は 42 名とする。
 - ①男子 24 名以内（成年、少年 A、少年 B それぞれ 10 名以内）
 - ②女子 23 名以内（成年、少年 A、少年 B それぞれ 10 名以内）
 - ③個人種目に出場しないリレー要員は男女各 5 名以内（合計 10 名以内）
2. 個人種目は、指定競技会における各種目の記録を参考に、直近の成績を優先し総合的な判断により選考する。ただし、トップアスリート参加資格特例措置対象者は、上記に関わらず優先する。
3. リレーメンバーは個人種目の選出選手および指定競技会の記録を参考に参加人数制限の範囲内でリレー要員を追加選考して構成する。
4. 本大会において決勝進出が見込めない種目は派遣しないことがある。
5. 成年区分は、トップアスリート参加資格特例措置対象者を除き、東京都選手権にエントリーをすることを条件とする。

国民体育大会水泳競技東京都代表選手選考基準

【飛込】

- 以下の競技会を選考競技会とする。

成年区分 ①関東選手権 ②関西選手権

少年区分 ①地域高等学校選手権 ②全国JOCジュニアオリンピックカップ地域別予選会

- 選考対象競技会にて日本水泳連盟が定める以下の標準点を突破した者。

種別	演技数	飛板飛込	高飛込
成年男子	6	240	230
成年女子	5	175	175
少年男子	6	165	165
少年女子	4	125	125

- 日本スポーツ協会が定めるトップアスリート参加資格特例措置対象者は上記に関わらず優先する。
- 最大枠4名の中から標準点を突破した者のうち、最も標準点の突破率が高い者を優先し、選手選考委員会にて最終決定を行う。
- 本大会にて得点獲得が見込めない種目は選手を派遣しない場合がある。

国民体育大会水泳競技東京都代表選手選考基準

【水球】

男子

1. 水球委員会強化事業（ジュニア練習会、U15、U17）での実績を基にして、年度始めに強化対象選手を30名選出。さらに東京都高等学校選手権水球リーグ戦（男子）や関東大会での戦績、監督推薦等により選手を選出する。
2. 選出された強化対象選手に対し、国体選手選考会（6月実施）等で能力測定を行う。
3. 国体選考会や強化練習会での攻防練習の中で、戦術理解度・実行力・判断力・協調性等を総合的に判断する。
4. 上記2および3を元に強化責任者である監督、コーチにより最終的なメンバーを決定する。

女子

1. 東京都高等学校選手権水球リーグ戦（女子）の優勝チームを主軸とし、その他のチームの選手選考および監督推薦により、高校の強化対象選手を選出する。また、東京都に勤務地のある社会人ならびに東京都在住の社会人、東京都に所在地のある高校中学出身の大学生を対象とし強化対象選手とする。
2. 選出された強化対象選手に対し、フィールドプレイヤー・ゴールキーパー毎の能力測定を行う。
3. 強化練習会を複数回行い、実際の攻防練習等にて戦術理解度、実行力、判断力、協調性等を総合的に判断する。
4. 上記2および3を元に強化責任者である監督、コーチにより最終的なメンバーを決定する。

国民体育大会水泳競技東京都代表選手選考基準

【アーティスティックスイミング】

1. (公財) 東京都水泳協会アーティスティックスイミング委員会にて、特別国民体育大会および関東ブロック大会派遣代表選手を選考する。
2. 特別国民体育大会および同関東ブロック大会派遣代表選手は、以下を元を選考する。
 - (1) から順に優先とし、対象年齢の選手に席次を付け選考結果とする。
 - (2) 『2022 年度 AS ジュニア代表派遣選手最終選考会』の最終結果
 - (3) 『アーティスティックスイミング・ナショナルトライアル 2023』デュエットテクニカルリクワイヤドエレメント競技の結果
 - (4) 『アーティスティックスイミング・ナショナルトライアル 2023』ソロテクニカルリクワイヤドエレメント競技の結果
 - (5) 『アーティスティックスイミング・ナショナルトライアル 2023』チームテクニカルリクワイヤドエレメント競技の結果
 - (6) 『第 99 回日本選手権水泳競技大会アーティスティックスイミング競技 東京都予選』ソロテクニカルルーティン競技の結果
 - (7) 『第 99 回日本選手権水泳競技大会アーティスティックスイミング競技 東京都予選』ソロフリールーティン競技の結果
 - (8) (1) ~ (7) で決定しない場合、改めて選考会を実施する。
3. 関東ブロック大会派遣代表選手は、原則、選考結果上位より 3 名を推薦する。ただし、対象選手が日本代表として合宿・遠征中などの理由で出場できない場合は、原則として選考結果の順により上位から選考、推薦する。
4. 特別国民体育大会派遣代表選手は、原則、選考結果上位より 2 名を正選手に、3 位の選手を予備登録選手として推薦する。ただし、対象選手が日本代表として合宿・遠征中などの理由で出場できない場合は、選考結果の順により上位から選考、推薦する。なお、予備登録選手は、原則、特別国民体育大会開催時に中学 3 年生から高校 2 年生までの選手とする。
5. 特別国民体育大会派遣代表選手が、体調不良などの理由で出場できなくなった場合は、選考結果の上位より順に再度選考し、推薦する。さらに欠員が出た場合など不測の状況となった場合、(公財) 東京都水泳協会アーティスティックスイミング委員会を開催し、改めて選考を行う。

国民体育大会水泳競技東京都代表選手選考基準

【オープンウォータースイミング】

1. 国体オープンウォータースイミング競技出場を希望する選手の中で、2023年国民体育大会オープンウォータースイミング選考対象大会（下記参照）成績を参考に判断する。
2. 選考は、東京都水泳協会選考委員会あたり、人数枠の範囲で選考する。
4. 大会規則に基づき、下記のどちらかを満たしている選手を選考の対象とする。
 - （1）2023年4月1日以降の都道府県水泳連盟（協会）が承認した、公式競技会または公認競技会において、国体標準記録を突破した選手。
 - * 国体標準記録（1/100秒までを対象とする）
男子 1500m 自由形 〈長水路〉 17分 00秒 00、もしくは 〈短水路〉 16分 45秒 00
女子 800m 自由形 〈長水路〉 9分 40秒 00、もしくは 〈短水路〉 9分 30秒 00
 - （2）2022年4月1日以降、日本選手権、本連盟認定大会、国際大会において5km以上の競技に参加し完泳した選手
5. 編成方針（東京都水泳協会が決定する）に沿って、総合的な判断により選考する。
6. 編成人数は、最大2名（男子1名、女子1名）とする（選考日は未定）。

【選考対象大会】

TOKYO OPEN WATER SWIMMING 大島 2023（2023年7月1日～2日）5km

※緊急中止の場合は、直前のラップゲートの順位で選考する。

※選考対象大会が中止となった場合は「第27回館山OWSフェスティバル 5km（2023年7月23日）」とする。